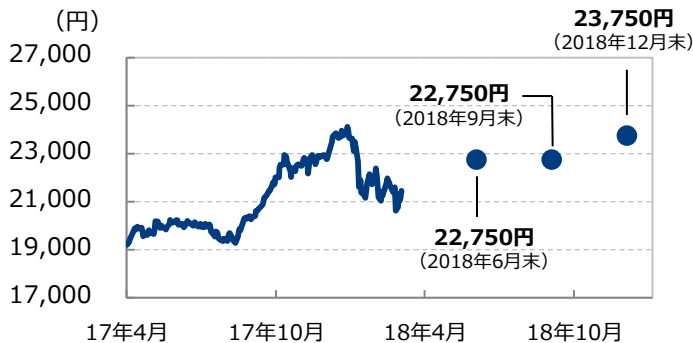




## Market View 4月号

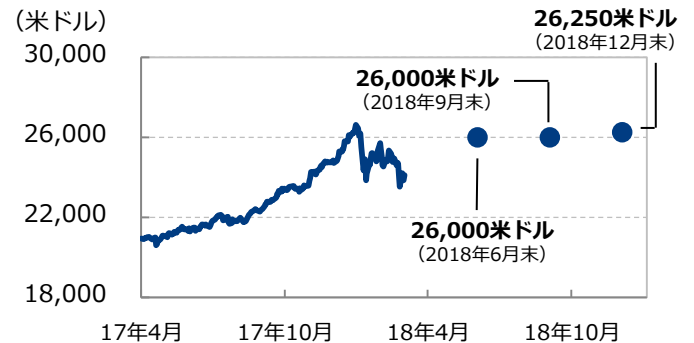
### 株式市場

#### 日経平均株価：株価は持ち直しへ



- 政治リスクや弱気な企業業績見直しへの懸念はほぼ織り込まれており、株価は持ち直しへ。景気の拡大一服や出口戦略議論の高まりには要注意。

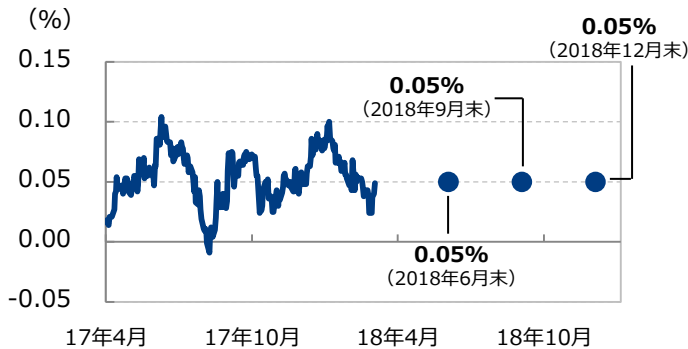
#### NYダウ：下値を切り上げる展開



- 企業業績の改善や景気の拡大基調の継続が見込まれることから下値を切り上げる展開を想定。消費の失速や保護主義の高まり、IT銘柄の成長減速懸念には注意。

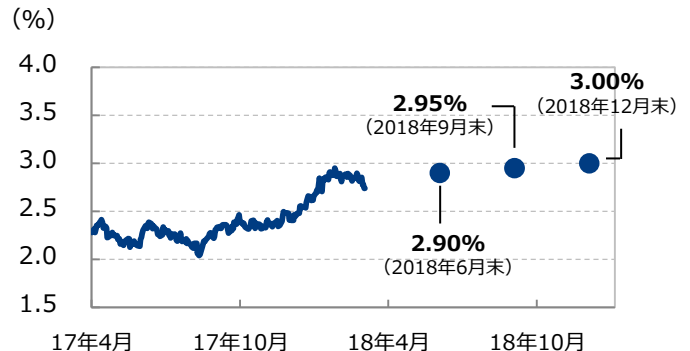
### 債券市場

#### 日本10年国債：横ばい圏での推移



- 国債発行減額、日銀の国債買入れ減額への慎重姿勢等から需給は引き締まりやすい。一方で追加緩和を織り込む状況までは想定しにくく、長期金利は横ばい圏での推移を見込む。

#### 米国10年国債：緩やかに上昇



- 米中貿易摩擦や地政学リスクへの警戒が必要だが、堅調な実体経済が続く中、FRBは利上げを継続する方針であり、緩やかな上昇圧力が残ると予想。

(1/2)

※2017年4月28日から2018年3月30日までのデータは実績値。2018年6月末、9月末、12月末の値は当社予想。  
 ※2018年3月30日は米国市場がグッドフライデーにより休場のため、NYダウのみ2018年3月29日まで実績値。  
 各種データをもとに大和住銀投信投資顧問作成

本資料に示す当社予想は、特に断りのない限り本資料作成日現在における大和住銀投信投資顧問運用部門の見解です。また、大和住銀投信投資顧問が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見直し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



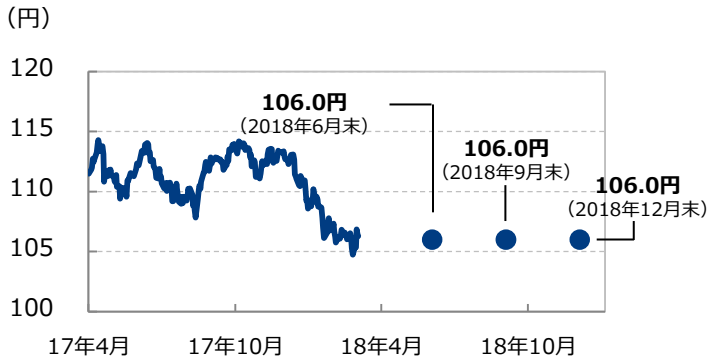
資産運用のベストパートナー、だいむすびざん  
**大和住銀投信投資顧問**  
 Daiwa SB Investments



# Market View 4月号

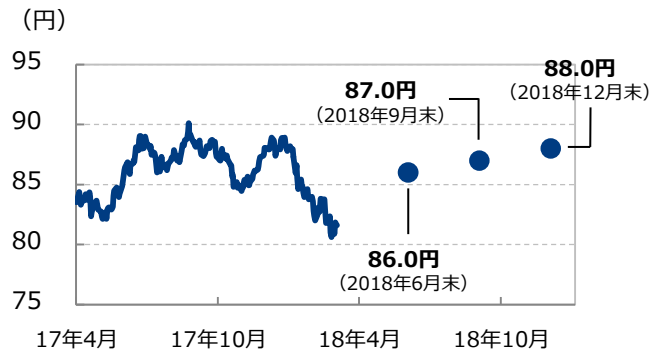
## 為替市場

### 米ドル/円：横ばい圏で推移



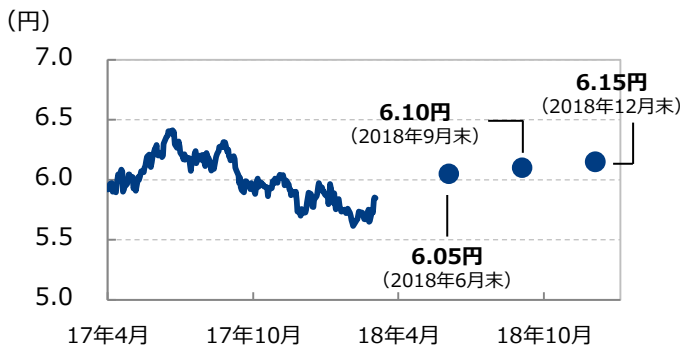
- 米国の貿易赤字と財政赤字の拡大が上値を抑えるものの、好調な景気とFRBの利上げが下支えとなり米ドル円は横ばい圏で推移する見込み。

### 豪ドル/円：緩やかな上昇



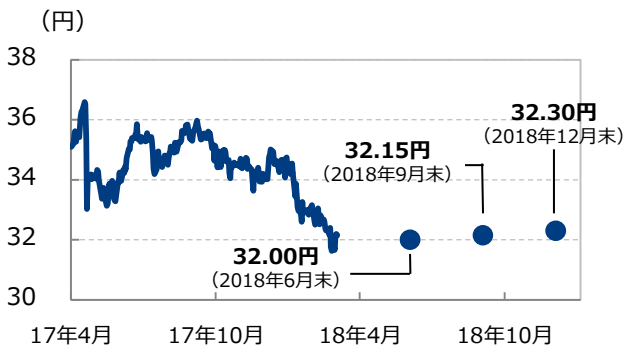
- 足許は米中貿易摩擦が上値を抑えているものの、RBAは賃金上昇率の底打ちを示唆しており、豪ドル円相場は引き続き緩やかな上昇を予想。

### メキシコペソ/円：上値の重い展開に



- NAFTA再交渉の早期合意期待がメキシコペソ相場を押し上げ。
- 7月1日にメキシコ大統領選を控え、上値は一旦重くなるとみられる。

### ブラジルリアル/円：不安定な展開に



- 最有力候補のルラ氏収監が大統領選の不確実性を高め、ブラジルリアルは不安定に。
- ただし、ブラジル中銀の継続的な利下げによる景気下支え効果はサポート要因。

(2/2)

※2017年4月28日から2018年3月30日までのデータは実績値。2018年6月末、9月末、12月末の値は当社予想。各種データをもとに大和住銀投信投資顧問作成

本資料に示す当社予想は、特に断りのない限り本資料作成日現在における大和住銀投信投資顧問運用部門の見解です。また、大和住銀投信投資顧問が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。